

平成31年度(2019年度)京都教育大学教員免許状更新講習

・講習は主な対象者のニーズにあった内容で実施しています。主な対象者でなければ受講できないということではありませんが、シラパスの内容等を十分ご確認の上でお申し込みください。
 ・ただし、養護教諭の方は、[全教員]あるいは[養護教諭]、栄養教諭の方は[全教員]あるいは[栄養教諭]の記載がある講習しか受講できません。

No.	区分	講習名	対象職種	主な対象者	会場	講習時間	受講者数(定員)	講習料	開催日
1	必修	教育の最新事情C(北部会場)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	市民交流プラザふくちやま (京都府福知山市)	6	72	¥6,000	2019/7/27(土)
2	必修	教育の最新事情A	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	150	¥6,000	2019/8/5(月)
3	必修	教育の最新事情B	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	150	¥6,000	2019/8/7(水)
4	選択必修	新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語(英語)の指導と評価(北部会場)	教諭	小、中(英語)、高(英語)	市民交流プラザふくちやま (京都府福知山市)	6	72	¥6,000	2019/7/28(日)
5	選択必修	道徳教育をめぐる理論・実践・評価	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	70	¥6,000	2019/8/5(月)
6	選択必修	教育の情報化—情報活用能力とメディア・リテラシーの育成—	教諭 養護教諭 栄養教諭	小、中、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	70	¥6,000	2019/8/6(火)
7	選択必修	反転研修 カリキュラム・マネジメント	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2019/8/6(火) PM
8	選択必修	反転研修 グローバル化に対応できる学校づくり	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2019/8/7(水) AM
9	選択必修	教育相談	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2019/8/8(木)
10	選択必修	学校という組織を考える	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	京都教育大学 藤森キャンパス	6	70	¥6,000	2019/8/9(金)
11	選択	人生100年時代の家族と家庭生活を考える	教諭 養護教諭	中(家庭)、高(家庭)、養護	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/5(月)
12	選択	ワークショップで学ぶ「音楽づくり(創作)」	教諭	小、中(音楽)、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/5(月)
13	選択	書道実技講座 書写・書道を扱う仮名文字の研究A	教諭	小、中(国語)、高(書道)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	60	¥6,000	2019/8/5(月)
14	選択	反転研修 教師の成長について考える	教諭	幼、小、中、高、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2019/8/6(火) AM
15	選択	反転研修 中学校技術科における主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践	教諭	小、中(技術)、高(農業・工業)、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	20	¥6,000	2019/8/6(火) AM
16	選択	反転研修 これからの学校体育を考える	教諭	幼、小、中(保健体育)、高(保健体育)、 特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2019/8/6(火) PM
17	選択	理科授業の実践的事例(物理・化学分野)	教諭	中(理科)、高(理科)、小学校教諭で中・ 高の「理科」免許状保有者	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/6(火)
18	選択	新聞活用入門講座	教諭	小、中	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2019/8/6(火)
19	選択	反転研修 特別な教育ニーズのある子どもの理解と支援	教諭 養護教諭	幼、小、中、高、特支、養護	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/7(水) AM
20	選択	反転研修 発達障害の疑われる子どもの見立てについて	教諭 養護教諭	幼、小、中、高、特支、養護	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/7(水) PM
21	選択	社会科の授業をつくる—地図、映像、統計を用いて深い学びを実現する—	教諭	小、中(社会)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	40	¥6,000	2019/8/7(水)
22	選択	植物バイオテクノロジー 遺伝と遺伝子(第2学舎会場)	教諭	中(理科、技術)、高(理科、農業)	京都教育大学 第2学舎	6	20	¥6,000	2019/8/7(水)
23	選択	基礎デザイン講座	教諭	小、中(美術)、高(美術)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	25	¥6,000	2019/8/7(水)
24	選択	反転研修 新学習指導要領における中学校高校外国語(英語)の指導と評価	教諭	中(英語)、高(英語)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2019/8/8(木) PM
25	選択	反転研修 主体的・対話的で深い学びを導く国語科授業づくり	教諭	小、中(国語)、高(国語)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2019/8/8(木) PM
26	選択	反転研修 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための理科の授業づくり	教諭	小、中(理科)、高(理科)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/8(木) PM
27	選択	フェルミ推定と数学的モデリング	教諭	中(数学)、高(数学)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/8(木)
28	選択	子どもの健康を考える	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼、小、中、高、特支、養護、栄養	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2019/8/8(木)
29	選択	反転研修 アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方	教諭	小、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	50	¥6,000	2019/8/9(金) AM
30	選択	反転研修 パワーポイントを用いた授業で使える「プチ」算数動画コンテンツ制作	教諭	小、特支	京都教育大学 藤森キャンパス	6	30	¥6,000	2019/8/9(金) PM
31	選択	反転研修 家庭科の深い学びを考える—季節を楽しむ住まい方を例に—	教諭	小、中(家庭)、高(家庭)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	24	¥6,000	2019/8/9(金) PM
32	選択	反転研修 先生を育てるメンターシップ育成講座—省察力・コーチング力・アセスメント力—	教諭	小、中、高	京都教育大学 藤森キャンパス	6	45	¥6,000	2019/8/9(金) AM
33	選択	書道実技講座 書写・書道を扱う仮名文字の研究B	教諭	小、中(国語)、高(書道)	京都教育大学 藤森キャンパス	6	60	¥6,000	2019/8/9(金)

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情C（北部会場）
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 子どもを取り巻く社会的状況の変化、あるいは学校教育の役割や期待などについて、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもたちの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思いますか。4つの全ての講義について記述してください。」
評価方法	30分間の筆記試験
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか） 2. 理解・思考（講習内容が踏まえられとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか） 3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）
開催日	2019年7月27日（土） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	72名
会場	市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情C（北部会場）
担当講師	相澤 雅文（京都教育大学特別支援教育臨床実践センター教授（現職））
	伊藤 悦子（京都教育大学教育学部教授（現職））
	牛山 道雄（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	内田 利広（京都教育大学教育学部教授（現職））
	片山 紀子（京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	神代 健彦（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	小谷 裕実（京都教育大学教育学部教授（現職））
	佐藤 克敏（京都教育大学教育学部教授（現職））
	佐藤 美幸（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	高柳 真人（京都教育大学教職キャリア高度化センター教授（現職））
	田爪 宏二（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	竺沙 知章（京都教育大学連合教職実践研究科教授（現職））
	徳岡 慶一（京都教育大学教育学部教授（現職））
	徳永 俊太（京都教育大学連合教職実践研究科准教授（現職））
	西村 佐彩子（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	樋口 とみ子（京都教育大学教職キャリア高度化センター准教授（現職））
	藤岡 秀樹（京都教育大学教育学部教授（現職））
	丸山 啓史（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	村上 登司文（京都教育大学教育学部教授（現職））

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情A
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 子どもを取り巻く社会的状況の変化、あるいは学校教育の役割や期待などについて、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思いますか。4つの全ての講義について記述してください。」
評価方法	30分間の筆記試験
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか） 2. 理解・思考（講習内容が踏まえられるとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか） 3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）
開催日	2019年8月5日（月） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	150名
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情A
担当講師	相澤 雅文（京都教育大学特別支援教育臨床実践センター教授(現職)）
	伊藤 悦子（京都教育大学教育学部教授（現職））
	牛山 道雄（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	内田 利広（京都教育大学教育学部教授（現職））
	片山 紀子（京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	神代 健彦（京都教育大学教育学部准教授(現職)）
	小谷 裕実（京都教育大学教育学部教授（現職））
	佐藤 克敏（京都教育大学教育学部教授（現職））
	佐藤 美幸（京都教育大学教育学部准教授(現職)）
	高柳 真人（京都教育大学教職キャリア高度化センター教授（現職））
	田爪 宏二（京都教育大学教育学部准教授(現職)）
	竺沙 知章（京都教育大学連合教職実践研究科教授（現職））
	徳岡 慶一（京都教育大学教育学部教授（現職））
	徳永 俊太（京都教育大学連合教職実践研究科准教授(現職)）
	西村 佐彩子（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	樋口 とみ子（京都教育大学教職キャリア高度化センター准教授（現職））
	藤岡 秀樹（京都教育大学教育学部教授（現職））
	丸山 啓史（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	村上 登司文（京都教育大学教育学部教授（現職））

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情B
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 子どもを取り巻く社会的状況の変化、あるいは学校教育の役割や期待などについて、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思えますか。4つの全ての講義について記述してください。」
評価方法	30分間の筆記試験
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか） 2. 理解・思考（講習内容が踏まえられとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか） 3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）
開催日	2019年8月7日（水） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	150名
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情B
担当講師	相澤 雅文（京都教育大学特別支援教育臨床実践センター教授(現職)）
	伊藤 悦子（京都教育大学教育学部教授（現職））
	牛山 道雄（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	内田 利広（京都教育大学教育学部教授（現職））
	片山 紀子（京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	神代 健彦（京都教育大学教育学部准教授(現職)）
	小谷 裕実（京都教育大学教育学部教授（現職））
	佐藤 克敏（京都教育大学教育学部教授（現職））
	佐藤 美幸（京都教育大学教育学部准教授(現職)）
	高柳 真人（京都教育大学教職キャリア高度化センター教授（現職））
	田爪 宏二（京都教育大学教育学部准教授(現職)）
	竺沙 知章（京都教育大学連合教職実践研究科教授（現職））
	徳岡 慶一（京都教育大学教育学部教授（現職））
	徳永 俊太（京都教育大学連合教職実践研究科准教授(現職)）
	西村 佐彩子（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	樋口 とみ子（京都教育大学教職キャリア高度化センター准教授（現職））
	藤岡 秀樹（京都教育大学教育学部教授（現職））
	丸山 啓史（京都教育大学教育学部准教授（現職））
	村上 登司文（京都教育大学教育学部教授（現職））

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語（英語）の指導と評価（北部会場）
講習の概要	小学校英語（中学年「外国語活動」・高学年「英語」）に関して、第二言語習得等の理論、Let's Try! We Can!など新教材の活用法、small talk、指導法（歌・チャンツ・絵本・コミュニケーション活動など）、文字指導、CLIL、Can-Do評価とパフォーマンス評価などについて理論と実践を往還する講義およびワークショップを行います。小中高英語の教育連携の観点から中学校、高等学校の英語科教諭も対象とします。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。持ち込み不可。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	西本 有逸（京都教育大学教育学部教授（現職）） 山本 玲子（京都外国語短期大学准教授（現職））
開催日	2019年 7月 28日（日） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	72名
学校種	小学校,中学校,高等学校
免許職種、教科等	小学校・中学校（英語）・高等学校（英語）教諭
職務経験等	特定しない
会場	市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 教材「Let's Try! We Can!」があればお持ちください。</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	道徳教育をめぐる理論・実践・評価
講習の概要	道徳の教科化なども含め、学校における教育活動全体での道徳教育をめぐる対応が重要視され注目されている。本講習では、現代的な問題として、道徳教育に対する発達段階に即した考え方や教材開発などについて、最近の調査などをふまえながら参加者とともに考えていくことをねらいとし、受講によって、理論的にも実践的にも新しい変化に迅速に対応できる体制を整えることをめざす。
履修認定試験問題等	「発達段階を考慮したうえでの道徳教育や道徳科の授業について、受講者自身の校種ではどのような点に配慮すべきだと考えますか。本講習によって得た知見等をふまえながら論じてください。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の論述試験（A4版1枚）を行います。
評価の観点等	1.論理性（論理的かつ説得力をもって記述されているか） 2.理解・思考（本講習内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な関心や意欲や態度が明瞭に記述されているか）
担当講師	相澤 伸幸（京都教育大学教育学部准教授（現職））
開催日	2019年 8月 5日（月） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	70名
学校種	幼稚園,小学校,中学校,高等学校,特別支援学校
免許職種、教科等	特定しない
職務経験等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：グループワーク（学校種ごとのグループ）で時間内に指導案を作成します。そのときの教材・資料としますので、各自がこれまで作成した指導案や教材など（紹介できるもの）のコピーを必ずご持参ください。グループの人数（5～6部ほど）分のコピーを当日持参していただければスムーズに進行できます。</p> <p>注意事項：各自、新しい学習指導要領を確認しておいてください。</p> <p>その他：小中学校の先生は、各学校で使用している道徳の教科書も持参していただくと、グループワークが充実します。</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	教育の情報化—情報活用能力とメディア・リテラシーの育成—
講習の概要	<p>ソーシャルメディア時代の子供達に必要な能力とは何か、学校教育活動においてどのように教育の情報化をはかっていくかを検討する。</p> <p>1、「教育の情報化」とは 2、情報活用能力を育てる情報教育（教科型） 3、情報活用能力を育てる情報教育（教科横断型） 4、メディア・リテラシー教育</p>
履修認定試験問題等	「本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	<p>浅井 和行（京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授（現職）） 木村 明憲（京都教育大学附属桃山小学校教諭（現職）） 山川 拓（京都市立九条塔南小学校教諭（現職））</p>
開催日	2019年 8月 6日（火） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	70名
学校種	小学校,中学校,特別支援学校
免許職種、教科等	特定しない
職務経験等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	反転研修 カリキュラム・マネジメント
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。 対面講習では、受講生が事前に視聴したWeb講義をもとに、カリキュラム・マネジメントを進める際の具体的な工夫について検討することを通して、カリキュラム・マネジメントとは何かに関する理解を深める。
視聴すべき2本の動画	カリキュラム・マネジメントの充実 カリキュラム・マネジメントの進め方
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1. 論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2. 理解（本講習の内容を踏まえ、自身の理解が示されているか） 3. 実践展望（実践的への展望が明瞭か）
担当講師	樋口 とみ子（京都教育大学教職キャリア高度化センター准教授（現職））
開催日	2019年8月6日（火） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	40名
学校種	幼稚園,小学校,中学校,高等学校,特別支援学校
免許職種、教科等	特定しない
職務経験等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 特になし 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	反転研修 グローバル化に対応できる学校づくり
講習の概要	いま学校教育にとってグローバル化への対応は大きな課題である。本学作成の「先生を究めるWeb動画」から「グローバル教育入門」「日本語指導が必要な児童生徒の教育」の2本を視聴し、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。対面授業では、実際に日本語指導の指導計画またはグローバル化に対応した授業・活動の計画を作成し議論等行う。
視聴すべき2本の動画	グローバル教育入門 日本語指導が必要な児童生徒の教育
履修認定試験問題等	本講習を受講してグローバル化に対応できる学校づくりについて考えたことを、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	浜田 麻里（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 7日（水） 9：30 ～ 12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	45名
学校種	幼稚園,小学校,中学校,高等学校,特別支援学校
免許職種、教科等	特定しない
職務経験等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 特になし 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5,反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	教育相談
講習の概要	授業では、まず不登校の現状とその心理的な理解について解説し、その上で各場面に応じて、どのような支援ができるかを検討していく。さらに、虐待や保護者との連携について、理解を深め、仮想事例による虐待事例への対応、保護者への対応について実践力を高める。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの児童生徒理解及び支援にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間45分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	内田 利広（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 8日（木） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	50名
学校種	幼稚園,小学校,中学校,高等学校,特別支援学校
免許職種、教科等	特定しない
職務経験等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 特になし 注意事項： 特になし その他： 特になし

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	学校という組織を考える
講習の概要	学校教育は公共的事業として内容の体系性や透明性があらかじめ求められる一方、幼児・児童・生徒などの様子や場の状況によって、授業や生徒指導の最前線でこそ決まる曖昧なものもある。こうした、組織でありながら必ずしも「合理的」とは言えない学校の不思議さ、そこで働くことの困難ややりがいを、参加者の振り返りを通じて確かめるとともに、「いい学校」の条件はどのようなものか、またそれはいかに可能かを一緒に考えたい。
履修認定試験問題等	本講習で知った、考えた、議論したことはどのようなことですか。また、それらを踏まえて、今後の教育実践や学校経営にどのように臨みたいですか。
評価方法	講習の最後部に30分間の記述式試験を行います。
評価の観点等	講習の内容が示されるとともに、論理的な記述となっているか、また今後の教職生活の展望が述べられているか。
担当講師	榎原 禎宏（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年8月9日（金） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	70名
学校種	幼稚園,小学校,中学校,高等学校,特別支援学校
免許職種、教科等	特定しない
職務経験等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：可能な方は勤務校の『学校要覧』</p> <p>注意事項：特になし</p> <p>その他：特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：家庭

講習の名称	人生100年時代の家族と家庭生活を考える
講習の概要	現代社会において、家族の変容は著しい。虐待や殺傷などさまざまな家族問題も噴出している。家族と家庭生活の変容について資料に基づいて講述する。とくに家族分野、高齢期の分野に焦点を当て、近代以降のデータを読み解き、現代家族の諸現象を相対的に理解できるようになることを目指す。さらにさまざまな家族問題について支援の方策について考えることができる知識と視点を修得する。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と教材資料を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	杉井 潤子（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 5日（月） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	中学校（家庭）・高等学校（家庭）教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 筆記具 注意事項： とくになし その他： とくになし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：音楽

講習の名称	ワークショップで学ぶ「音楽づくり（創作）」
講習の概要	本講習の目標は音楽づくり（創作）のさまざまなプログラムによって音を能動的に聴く力を身につけることである。ワークショップでは音楽づくり（創作）を端緒とし、演奏、鑑賞を双方向的に体験することで「聴く」という行為を多角的に捉え、音によるコミュニケーションを実践的に考察する。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	増田 真結（京都教育大学教育学部講師（現職））
開催日	2019年 8月 5日（月） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（音楽）・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：演奏できる楽器がある場合は持参してください（最後に合奏を行います）。 注意事項：動きやすい服装で参加してください。 その他：即興や合奏を行います。音楽に関する専門的な知識や演奏技術がなくても受講可能です。

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：書道

講習の名称	書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A
講習の概要	<p>小学校・中学校(国語)書写、高等学校書道で扱う仮名文字を講義・実習を通じて研修し、書写と書道の関連性を仮名文字から考える。</p> <p>※『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B』とは同内容ですので、両講座申込みする事はできません。 ※昨年度に『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A』『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B』の講座を受講された方は、同内容のため受講する事はできません。</p>
履修認定試験問題等	本講座において習得した知識・技術を活かして書写・書道で扱う文字はどのようなものがふさわしいかを半紙にまとめる。
評価方法	終了時に提出する作品を制作します。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> 1、仮名文字に関する知識・技術が習得できているか。 2、書写・書道で扱う仮名文字に関して理解しそれぞれにふさわしい文字が表現できているか。
担当講師	岡田 直樹（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 5日（月） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	60名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校(国語)・高等学校(書道)教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 墨、硯、筆(小字仮名用の小筆)、半紙(小字の仮名が書ける滲みの少ない半紙)など毛筆に必要な用具・用材一式</p> <p>注意事項： 書道実習が行える服装</p> <p>その他： 必要な資料は当日配布する。</p>

【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 教師の成長について考える
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。対面授業では、数名程度のグループを作り、教師の成長につながる困難課題の省察と対応策の発見という観点から、自身の学校現場での実践と照らし合わせた対話型の学習を行い、課題解決の方法を考える。
視聴すべき2本の動画	教師が成長するために 教師のキャリア発達
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	高柳 真人（教職キャリア高度化センター教授（現職）） 河崎 智恵（奈良教育大学教職大学院准教授（現職））
開催日	2019年 8月 6日（火） 9：30 ～ 12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	45名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：なし 注意事項：反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他：なし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：技術

講習の名称	反転研修 中学校技術科における主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践
講習の概要	本講習では、技術科（材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報）の学習内容における、問題解決的な学習指導の考え方と方法について、実践事例をもとに講義・演習を行う。最初に、指定の「先生を究めるWeb動画」2本を視聴し、7月24日（水）までに1本当たり200～300字でレポートを作成し提出する。また、対面授業では、問題解決的な学習の理論と技術的問題解決を促すための生徒へのアプローチや題材設定の在り方、また技術科教育におけるアクティブ・ラーニングの捉え方についての講義を基礎に、実践事例の検討と課題実習を行う。小中高連携の観点から小学校・高等学校（農業科・工業科）教諭も対象とする。
視聴すべき2本の動画	技術科教育とは 技術科における教材とは
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	原田 信一（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 6日（火） 9：30 ～ 12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	20名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（技術）・高等学校（農業・工業）・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 （持っていない場合、スマートフォンやipad等にダウンロードして持参も可）</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：保健体育

講習の名称	反転研修 これからの学校体育を考える
講習の概要	指定の「先生を究めるWeb動画」2本を視聴し、7月24日（水）までに1本当たり200～300字でレポートを作成し提出する。 また、対面授業では、新しい学力の育成と共に、少子高齢化の急速な進行、持続可能な社会のあり方など、教育をめぐる重大な課題を踏まえて、身体と動きのリテラシーを育てる体育カリキュラム論について検討し、カリキュラムの方向性についてグループワークを行う。また、体育の授業を行うにあたって踏まえておくべき基本的な事項を含めて、学習内容や運動教材という少し広い視野から、これからの時代に求められる体育授業のあり方について考えていく。
視聴すべき2本の動画	身体と動きのリテラシーを育てる体育 体育の授業づくりと運動教材の考え方
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	井谷 恵子（京都教育大学教育学部教授（現職）） 小松崎 敏（京都教育大学教育学部准教授（現職））
開催日	2019年 8月 6日（火） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面授業）
定員	50名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校（保健体育）・高等学校（保健体育）・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 特になし 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：理科

講習の名称	理科授業の実践的事例（物理・化学分野）
講習の概要	<p>化学分野の講習では、有機化学の分野をはじめとした身の回りの化学的なもの・現象に関連する化学実験を行う。</p> <p>物理分野の講習では、アクティブ・ラーニング型授業の構築および運営の留意点と実際について、力学（または電気）分野を例にワークショップ形式で行う。あわせて、認知発達の見点に基づく支援の方法についても扱う。</p>
履修認定試験問題等	本講習において修得した知識や技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。他
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行う。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	鈴木 祥子（京都教育大学教育学部講師（現職）） 谷口 和成（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 6日（火） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校（理科）・高等学校（理科）教諭、小学校教諭で中・高の「理科」免許状保有者
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：受講者の勤務校種における理科の教科書（高校の場合は「物理」・「化学」の教科書）、お持ちの方は白衣（化学の講習）。</p> <p>注意事項：化学の講習では実験を行いますので、汚れても良く動きやすい服装でお越しください。</p> <p>その他：物理の講習では、積極的な参加が求められます。</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：社会

講習の名称	新聞活用入門講座
講習の概要	新聞（記事）を活用して、情報を読み解きながら、考え、伝えあうという学習スタイルは、主体的・対話的で深い学びを実現するのに最適な学習方法である。本講座では、これから新聞活用（新聞を読む・新聞を知る・新聞を作る）に取り組んでみようと考えている先生方に、新聞活用の意義や教科での活用方法などについて、講義とワークショップを通して理解していただきたい。また新聞記者を招いてお話しいただくことも予定している。
履修認定試験問題等	「この講習の中で示された内容を、あなたのこれからの授業実践にどのように活かせると思いますか、校種や担当学年などをふまえて具体的に述べてください。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（問題意識と論旨が明確に示されているか） 2.理解・思考（本講習の内容が十分理解・把握されているか） 3.実践意欲・展望（本講習の内容を教育実践に活かそうとする意欲や態度が明確か）
担当講師	平石 隆敏（京都教育大学教育学部教授（現職）） 神崎 友子（京都教育大学附属桃山中学校教諭（現職））
開催日	2019年 8月 6日（火） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 特になし 注意事項： 特になし その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：特別支援

講習の名称	反転研修 特別な教育ニーズのある子どもの理解と支援
講習の概要	自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如多動症（ADHD）などの集団適応の難しい子どもたち、並びに発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）などの読み書きの正確性や流暢性の困難に関連した認知特性の理解と支援のあり方について考える。 対面講習の前に、本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出することが必要である。
視聴すべき2本の動画	集団適応が苦手な子どもの理解と支援 読み書きが苦手な子どもの理解と支援
履修認定試験問題等	「本講習において習得した特別支援教育に関する知識を、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	相澤 雅文（京都教育大学特別支援教育臨床実践センター教授（現職）） 三盃 亜美（大阪教育大学教育学部講師（現職））
開催日	2019年 8月 7日（水） 9：30 ～ 12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	30名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：筆記用具 注意事項：反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他：なし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：特別支援

講習の名称	反転研修 発達障害の疑われる子どもの見立てについて
講習の概要	発達障害が疑われる幼児児童を支援するための理解の仕方について、本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容をレポートとしてまとめ提出する。その後、レポート内容と受講者の興味や実践からテーマを設定し、アクティブ・ラーニングを通して発達障害の幼児児童の理解と支援について洞察を深め、実践に資する課題解決法について検討する。
視聴すべき2本の動画	特別な支援を要する児童の理解の仕方について 発達障害児の気づきと支援—幼児期編—
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	小谷 裕実（京都教育大学教育学部教授（現職）） 佐藤 克敏（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 7日（水） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	30名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 筆記用具 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：社会

講習の名称	社会科の授業をつくる ―地図、映像、統計を用いて深い学びを実現する―
講習の概要	<p>社会科において、深い学びを実現するためにはどのような地図・資料等を探し出し、活用すればよいかを実践的にアドバイスする。授業では講師が推薦する地図や映像（史料）、統計等を紹介するとともに、それらを活用して知的好奇心をくすぐる授業の作り方を、作業的・体験的に学べるようにする。最後に、資料活用の実践力をつけることと、社会的な見方・考え方や新教育課程が目指す資質・能力の育成との関わりについて検討する。</p> <p>※昨年度に『社会科の授業をつくる―地図・統計・映像を用いて深い学びを実現する―』の講座を受講された方は、同内容のため受講することはできません。</p>
履修認定試験問題等	本講習において示された資料（地図・映像・統計）の使い方を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> 1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	山下 宏文（京都教育大学教育学部教授（現職）） 香川 貴志（京都教育大学教育学部教授（現職）） 中村 翼（京都教育大学教育学部講師（現職））
開催日	2019年 8月 7日（水） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（社会）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記具</p> <p>注意事項： 事前に「もののけ姫」のアニメーション映画をDVD等で視聴しておくことが望ましい。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：環境

講習の名称	植物バイオテクノロジー 遺伝と遺伝子（第2学舎会場）
講習の概要	近年、特に発展の著しい生物の遺伝、遺伝子に関する分野の実験を以下の内容で行い、授業等で実施できるように理解を深める。実験材料には、辛味成分を合成するトウガラシと合成しないピーマンを交配した雑種第二代を用い、葉から簡易法により抽出したDNAを鋳型にしてPCR法により辛味合成遺伝子を検出し、遺伝子型の分離を調査する。このような技術が農業等の分野で利用され、社会を豊かにしていることも概説する。
履修認定試験問題等	本講習において修得した知識や技術をこれからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に講習内容に関連する試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	本講習の内容に関する基本的な知識や技能・実践力について評価します。
担当講師	南山 泰宏（京都教育大学環境教育実践センター教授（現職））
開催日	2019年 8月 7日（水） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	20名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校（理科、技術）・高等学校（理科、農業）教諭
会場	京都教育大学 第2学舎 環境教育実践センター
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 上履きと白衣があれば、持参して下さい。（スリッパはあります）</p> <p>注意事項： 実験を行いますので、汚れてもよい動きやすい服装で来て下さい。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：美術・図画工作

講習の名称	基礎デザイン講座
講習の概要	デザインは人間の生活営為に密接に結びついている。ここでは、日常の中に美を発見、抽出したものを、結合、提示するために必要な造形の基礎演習「色彩構成」「立体構成」を中心に講習を展開する。
履修認定試験問題等	基礎的な造形力を養う実技課題
評価方法	基礎的な造形力
評価の観点等	発想から定着までの経緯と作品評価
担当講師	安江 勉（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 7日（水） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（美術）・高等学校（美術）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：筆記具、60cm位の直定規1本、長辺30cm位の三角定規1組、ハサミ、カッター、のり、両面テープ、コンパス、日本色研事業トータルカラー93色B5、スケッチブックB4位</p> <p>注意事項：汚れてもよい服装</p> <p>その他：特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：英語

講習の名称	反転研修 新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価
講習の概要	「先生を究めるWeb動画」のうち、新学習指導要領における外国語（英語）の指導と評価—中学校編—と—高校編—にもとづき、学習指導要領改訂の基本方針と新学習指導要領のポイントを説明する。受講生は、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。対面講習では、小中連携・4技能5領域の指導と評価（以上、中学校編）、第二言語習得理論からの示唆・4技能5領域の統合的な指導（以上、高校編）について、ワークショップ形式で演習を行う。
視聴すべき2本の動画	新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価—中学校編— 新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価—高校編—
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。持ち込み不可。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	西本 有逸（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 8日（木） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	45名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校（英語）・高校学校（英語）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物：英和辞書 注意事項：反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他：特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：国語

講習の名称	反転研修 主体的・対話的で深い学びを導く国語科授業づくり
講習の概要	本講習では、国語科における主体的・対話的授業について、具体的な授業案を詩教材を使って提案するとともに、国語科の新しい学習指導要領の実践に向けて、専門的な知識などを講義する。 最初に、本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。次に、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。
視聴すべき2本の動画	子どもの解釈を引き出す詩の授業ー主体的・対話的で深い学びのためにー 国語科における新しい学習指導要領の実現に向けて
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	天野 知幸（京都教育大学教育学部准教授（現職）） 植山 俊宏（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 8日（木） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	45名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（国語）・高等学校（国語）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 筆記用具 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：理科

講習の名称	反転研修 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための理科の授業づくり
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容に示した研修を実施する。 アクティブ・ラーニングの視点である「主体的・対話的で深い学び」を理解するために、理科活用汎用的スキルを体験的に学びます。マルチプル・インテリジェンス法によるグルーピング、協働的で自由度の高い探究プロセスの体験、支援のためのコーチング、省察の方法について学び、アクティブ・ラーニングによる深い学びに迫ります。
視聴すべき2本の動画	「主体的・対話的で深い学び」を理解するための理科の探究学習－理論編－ 「主体的・対話的で深い学び」を理解するための理科の探究学習－実践編－
履修認定試験問題等	本講習における探究学習について習得した技能について、これからの教育実践にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	村上 忠幸（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 8日（木） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（理科）・高等学校（理科）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記用具、ノート（ポータフォリオ用に1冊）、カメラ（探究学習の記録用、スマホでもよい）、容器1個（自宅にあるものなんでもよい）</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：算数・数学

講習の名称	フェルミ推定と数学的モデリング
講習の概要	フェルミ推定や数学的モデリングについて、具体的な事例を通して体験的に理解する。計算処理には電卓やグラフ電卓を使用する。また、フェルミ推定や数学的モデリングの具体的な教材事例について、その教育実践を主体的に考え、参加者で議論するなどのアクティブラーニングを行う。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	柳本 哲（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 8日（木） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校（数学）・高等学校（数学）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 筆記用具 注意事項： 特になし その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：保健体育

講習の名称	子どもの健康を考える
講習の概要	現代の子どもを取り巻く環境は、安全性や生活の利便性などは以前より良好となったが、一方で運動不足やジャンクフードなどにより、生活習慣に起因する問題点が多く指摘されるようになってきた。本講習では、子どもの健康問題として、小児肥満とメタボリックシンドローム、運動が健康に与える影響、子どもの睡眠問題、姿勢と足育などを中心に話題提供し、子どもにとって健康的な生活習慣を獲得するには何が重要かを考える機会としたい。
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	井上 文夫（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 8日（木） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	50名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：算数・数学

講習の名称	反転研修 アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方
講習の概要	<p>本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。 前半は、アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方について学習します。 後半は、それをもとに実際の算数科指導案を作成し、2学期以降の授業づくりに役立てます。</p> <p>※昨年度に『反転研修 アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方B』の講座を受講された方は、同内容のため受講する事はできません。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>算数科学習指導要領の要点</p> <p>算数・数学授業におけるアクティブラーニング</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの算数授業づくりにどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	黒田 恭史（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年8月9日（金） 9：30 ～ 12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	50名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 担当学年の算数科の教科書、指導書 本年度、担当学年がない場合は、持参していただくなくてもかまいません。</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：算数・数学

講習の名称	反転研修 パワーポイントを用いた授業で使える「プチ」算数動画コンテンツ制作
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。 前半は、算数動画コンテンツ制作の教育的意義と動画コンテンツ制作方法について学習します。後半は、パワーポイントを用いた授業で使える「プチ」算数動画コンテンツを制作・交流します。
視聴すべき2本の動画	算数動画コンテンツ制作講座① 算数動画コンテンツ制作講座②
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの算数動画コンテンツ制作にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	黒田 恭史（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年8月9日（金） 14:00 ～ 17:00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 担当学年の算数科の教科書、指導書 本年度、担当学年がない場合は、持参していただくなくてもかまいません。</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：家庭

講習の名称	反転研修 家庭科の深い学びを考えるー季節を楽しむ住まい方を例にー
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。対面授業では、視聴した内容を基に、季節の変化に合わせて自然と対話する住まい方について理解を深め、アクティブ・ラーニングへの転換についてディスカッションし、家庭科の深い学びの実現に迫る学習指導のあり方について考える。
視聴すべき2本の動画	新・学習指導要領で家庭科の深い学びを考える 自然と対話する住まい方ー季節を楽しむー
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	延原 理恵（京都教育大学教育学部准教授（現職）） 榊原 典子（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 9日（金） 14：00 ～ 17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	24名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（家庭）・高等学校（家庭）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 季節を話題にできる雑貨や小物（季節を感じさせる生活シーンの写真でも可） 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 先生を育てるメンターシップ育成講座ー省察力・コーチング力・アセスメント力ー
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月24日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。「教員は学校で育つ」ー経験から学ぶOJTを有効なものにするメンターシップを育成するために「省察力」「コーチング力」「アセスメント力」を体験的に学びます。初任者研修指導やメンターに興味のある方に受講をすすめます。
視聴すべき2本の動画	メンターシップ育成プログラムー理論編1ー メンターシップ育成プログラムー理論編2ー
履修認定試験問題等	講座の省察課題（ループリック）及びレポート作成
評価方法	Web講座の視聴およびそのレポート 受講の状況及び省察課題（ループリック）及びレポート
評価の観点等	メンターシップに対する経験的理解が出来ているか
担当講師	村上 忠幸（京都教育大学教育学部教授（現職）） 初田 幸隆（京都教育大学教職キャリア高度化センター教授（現職））
開催日	2019年 8月 9日（金） 9：30 ～ 12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	45名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	持ち物： 筆記用具 注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。 その他： 特になし

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：書道

講習の名称	書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B
講習の概要	<p>小学校・中学校(国語)書写、高等学校書道で扱う仮名文字を講義・実習を通じて研修し、書写と書道の関連性を仮名文字から考える。</p> <p>※『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A』とは同内容ですので、両講座申込みする事はできません。 ※昨年度に『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究A』『書道実技講座 書写・書道で扱う仮名文字の研究B』の講座を受講された方は、同内容のため受講する事はできません。</p>
履修認定試験問題等	本講座において習得した知識・技術を活かして書写・書道で扱う文字はどのようなものがふさわしいかを半紙にまとめる。
評価方法	終了時に提出する作品を制作します。
評価の観点等	<p>1、仮名文字に関する知識・技術が習得できているか。</p> <p>2、書写・書道で扱う仮名文字に関して理解しそれぞれにふさわしい文字が表現できているか。</p>
担当講師	岡田 直樹（京都教育大学教育学部教授（現職））
開催日	2019年 8月 9日（金） 9：30 ～ 17：30
講習時間数	6時間
定員	60名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校(国語)・高等学校(書道)教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 墨、硯、筆(小字仮名用の小筆)、半紙(小字の仮名が書ける滲みの少ない半紙)など毛筆に必要な用具・用材一式</p> <p>注意事項： 書道実習が行える服装</p> <p>その他： 必要な資料は当日配付する。</p>